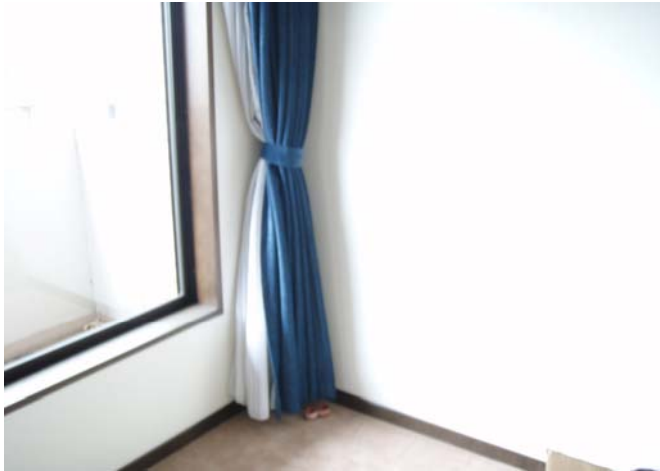


パイプスペース工法実例



施工前



施工中

- ・外壁面に配管用貫通穴を開け
冷媒管を配管し、壁内部に隠蔽します。
貫通部分のみパイプスペースを設置します。

新設冷媒管

外壁貫通穴75φ又は100φ

貫通部分の配管が出てしまう為
パイプスペースを設置します。



施工後

- ・配管施工後、石膏ボードで開口部及び、
パイプスペースを塞ぎ、クロスを貼って
仕上ります。
- *壁解体部分のみのクロスを復旧します。
但し、既存のクロスと若干色や柄が異なります。
又、壁全体の貼替えも可能です。

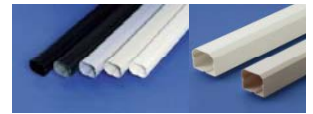
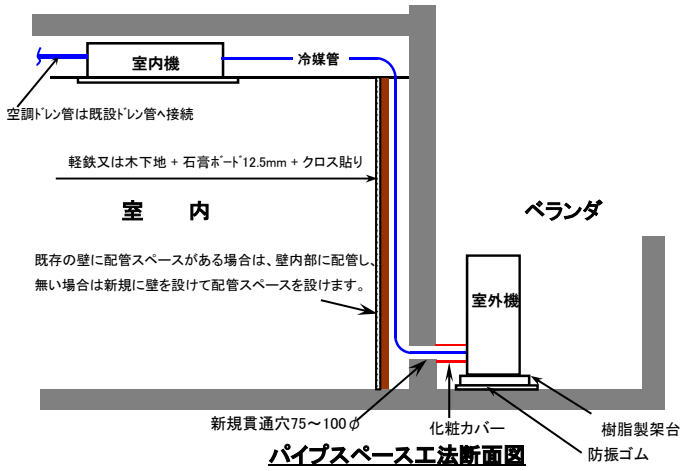
新設パイプスペース

* 工事後の注意事項

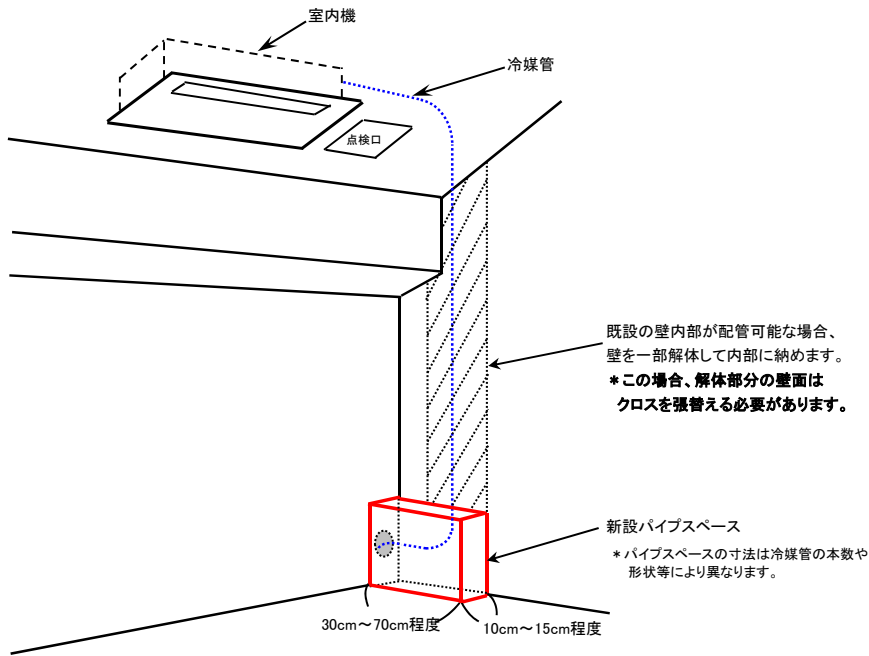
壁内部に冷媒管が配管されていますので、壁面に釘を打ったりしないで下さい。
内部の冷媒管が損傷し、冷媒ガスが漏れてしまいます。
配管が損傷した場合は、壁を再度解体して配管を補修しなくてはなりませんので御注意ください。

施工提案

新設空調機はベランダに室外機を設置する為、屋内から屋外へ冷媒管を貫通させる必要があります。その為、冷媒管を天井から室内へ立ち下げて外壁を貫通し、室外機へ接続します。それにより、配管を通すスペースを新たに設けなければなりません。又、室内のスペースを犠牲にしないように極力、既設の壁に配管を埋め込みパイプスペースの大きさを最小限の大きさに納めます。



化粧カバーの種類(例)



パイプスペース工法